

科目名	現代社会の諸問題B				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照		
開講期	秋学期	開講学部等	現代社会学部	配当年次	1年次
				単位数	2単位
教員名	淡路 靖弘, 落合 恵美子, 加藤 敦典, 金光 淳, 河原 省吾, 鈴木 康久, 浜田 雄介, 濱野 強, ポンピタックサントー ピヤ, 前川 真裕子, 松島 佳子, 山中 千恵, 吉川 美代子				

授業概要／Course outline

本授業は、現代社会に生起する様々な諸問題について、その問題に精通する人や現場を知る人の講義を直接受けることで、受講生各自がダイレクトに社会のありようにふれ、このことを通じて社会に対する問題意識を養うことを目的とする。そのため、本授業では、「地域社会学」「人間社会学」「メディア社会学」「健康・スポーツ社会学」にかかわるさまざまなテーマをとりあげ、各界から招いた講師陣を含む多様な教員により、オムニバス形式で授業がおこなわれる。この授業を履修することで、学生は現代社会に生起する重要問題のありようを広く俯瞰的に学ぶことができる。なお本授業は、現代社会の諸問題Aと共通の目的をもつ授業であるが、Aでは扱わない諸問題を取りあげる。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】
対面授業
【授業方法】
講義

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 テーマ：異文化理解に関する諸問題（加藤 敦典）

内外に多様で深刻な問題をかかえる現代社会の問題を理解するという本授業の目的を説明したうえで、授業全体の概要、受講の方法や成績評価の方法の説明をおこなう。後半の講義では、異文化理解の方法に関する諸問題を明らかにする。

第2回 テーマ：健康・スポーツに関する諸問題（濱野 強）

健康・スポーツについて、それらが直面している課題とその解決をめぐる諸問題を明らかにする。

第3回 テーマ：地域づくりと公共政策に関する諸問題（鈴木 康久）

京都市内の市町村を中心に、地域特性を活かし未来を創造していくための計画や行動、政策に関する諸問題を明らかにする。

第4回 テーマ：多文化社会の権力構造に関する諸問題（前川 真裕子）

多文化社会の権力構造と異質な他者について取り上げ、それらに伴う諸問題を明らかにする。

第5回 テーマ：心理学を通じた人間理解や援助に関する諸問題（河原 省吾）

心理学的人間理解および援助実践について取り上げ、それらに伴う諸問題を明らかにする。

★オンデマンド テーマ：ポピュラーカルチャーに関する諸問題（山中 千恵）

ポピュラーカルチャーについて取り上げ、それらが直面している諸問題を明らかにする。第5回講義終了の1週間後を目処に動画を配信する。

第6回 テーマ：文化・芸術とイノベーションに関する諸問題（金光 淳）

現代日本と京都における文化、芸術、エンターテインメントとイノベーションに関する諸問題を明らかにする。

第7回 テーマ：青少年の行動と生活に関する諸問題（国吉 恵一）

学校安全や青少年の行動と生活に関するテーマについて取り上げ、それらが抱えている課題とその解決をめぐる諸問題を明らかにする。

第8回 テーマ：栄養・食生活に関する諸問題（松島 佳子）

健康の維持増進と栄養・食生活のあり方についての課題と解決策をめぐる諸問題を明らかにする。

第9回 テーマ：スポーツや身体をめぐる社会現象に関する諸問題（浜田 雄介）

スポーツや身体をめぐる社会的現象についての課題とその解決策をめぐる諸問題を明らかにする。

第10回 テーマ：広告やメディアと生活者に関する諸問題（ポンピタックサントー ピヤ）

広告やメディアおよび生活者行動に関するテーマについて取り上げ、それらに伴う諸問題を明らかにする。

第11回 テーマ：現代社会に関する諸問題（ゲスト講師（予定），加藤 敦典）

現代社会における諸問題を中心に，ゲスト講師にお話しいただく。

第12回 テーマ：放送メディアでの女性の活躍・役割・限界に関する諸問題（吉川 美代子）

放送メディアの世界を取り上げ，女性のキャリアや職業人としての在り方，あるいはそれらに伴う課題を明らかにする。

第13回 テーマ：現代社会に関する諸問題（ゲスト講師（予定），加藤 敦典）

現代社会における諸問題を中心に，ゲスト講師にお話しいただく。

第14回 テーマ：家族とジェンダーに関する諸問題（落合 恵美子）

日本の家族とジェンダーに関するよくある誤解を解き，将来について柔軟な発想ができるようにする。

※担当教員の授業スケジュールが変更になる場合があります。その場合は，授業でアナウンスを行います。

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回 テーマ：異文化理解に関する諸問題（加藤 敦典）

〔事前学習〕インターネットや新聞等を用い，授業で扱われるテーマに関連する記事を読んでおく。

〔事後学習〕授業の内容をまとめておく。

第2回 テーマ：健康スポーツと地域活性化に関する諸問題（濱野 強）

〔事前学習〕インターネットや新聞等を用い，授業で扱われるテーマに関連する記事を読んでおく。

〔事後学習〕授業の内容をまとめておく。

第3回 テーマ：地域づくりと公共政策に関する諸問題（鈴木 康久）

〔事前学習〕インターネットや新聞等を用い，授業で扱われるテーマに関連する記事を読んでおく。

〔事後学習〕授業の内容をまとめておく。

第4回 テーマ：多文化社会の権力構造に関する諸問題（前川 真裕子）

〔事前学習〕インターネットや新聞等を用い，授業で扱われるテーマに関連する記事を読んでおく。

〔事後学習〕授業の内容をまとめておく。

第5回 テーマ：心理学を通じた人間理解や援助に関する諸問題（河原 省吾）

〔事前学習〕インターネットや新聞等を用い，授業で扱われるテーマに関連する記事を読んでおく。

〔事後学習〕授業の内容をまとめておく。

★オンデマンド テーマ：ポピュラーカルチャーに関する諸問題（山中 千恵）

〔事前学習〕インターネットや新聞等を用い，授業で扱われるテーマに関連する記事を読んでおく。

〔事後学習〕授業の内容をまとめておく。

第6回 テーマ：文化・芸術とイノベーションに関する諸問題（金光 淳）

〔事前学習〕インターネットや新聞等を用い，授業で扱われるテーマに関連する記事を読んでおく。

〔事後学習〕授業の内容をまとめておく。

第7回 テーマ：青少年の行動と生活に関する諸問題（国吉 恵一）

〔事前学習〕インターネットや新聞等を用い，授業で扱われるテーマに関連する記事を読んでおく。

〔事後学習〕授業の内容をまとめておく。

第8回 テーマ：栄養・食生活に関する諸問題（松島 佳子）

〔事前学習〕インターネットや新聞等を用い，授業で扱われるテーマに関連する記事を読んでおく。

〔事後学習〕授業の内容をまとめておく。

第9回 テーマ：スポーツや身体をめぐる社会現象に関する諸問題（浜田 雄介）

〔事前学習〕インターネットや新聞等を用い，授業で扱われるテーマに関連する記事を読んでおく。

〔事後学習〕授業の内容をまとめておく。

第10回 テーマ：広告やメディアと生活者に関する諸問題（ポンピタックサンティ ピヤ）

〔事前学習〕インターネットや新聞等を用い，授業で扱われるテーマに関連する記事を読んでおく。

〔事後学習〕授業の内容をまとめておく。

第11回 テーマ：現代社会に関する諸問題（ゲスト講師（予定），加藤 敦典）

〔事前学習〕インターネットや新聞等を用い，授業で扱われるテーマに関連する記事を読んでおく。

〔事後学習〕授業の内容をまとめておく。

第12回 テーマ：放送メディアでの女性の活躍・役割・限界に関する諸問題（吉川 美代子）

〔事前学習〕インターネットや新聞等を用い，授業で扱われるテーマに関連する記事を読んでおく。

〔事後学習〕授業の内容をまとめておく。

第13回 テーマ：現代社会に関する諸問題（ゲスト講師（予定），加藤 敦典）

〔事前学習〕インターネットや新聞等を用い，授業で扱われるテーマに関連する記事を読んでおく。

〔事後学習〕授業の内容をまとめておく。

第14回 テーマ：家族とジェンダーに関する諸問題（落合 恵美子）

〔事前学習〕インターネットや新聞等を用い，授業で扱われるテーマに関連する記事を読んでおく。

〔事後学習〕授業の内容をまとめておく。

※事前事後学習は90分の授業に対して180分必要である。

授業の到達目標／Expected outcome

授業で取り上げた現代社会に生起する諸問題を理解し，説明できる。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

・幅広い教養

専門知識・専門技能

【現代社会学部 現代社会学科】

・社会学をはじめとする社会科学の応用知識

【現代社会学部 健康スポーツ社会学科】

・社会学と健康・スポーツ科学の応用知識

履修上の注意／Special notes, cautions

インターネットや新聞の記事などに積極的にふれ，普段から主体的に問題関心を養っておくこと。

評価方法／Evaluation

平常点（授業時に課す課題）100%

教 材／Text and materials

指定の教材はなし。

質問や相談の方法／Instructor contact

- ・授業全般についての質問等は，幹事教員の加藤までメール（akato@cc.kyoto-su.ac.jp）にて連絡すること。
- ・各授業の内容については，担当教員のオフィスアワー，またはメール（各授業で周知）にて対応する。